

うたしない 市議会だより

第47号

歌志内市議会
議会報編集委員会

発行年月日 平成29年8月1日



行政常任委員会で有害鳥獣対策用ドローンの実演を視察

平成29年
第2回定例会
6月開催



〔定例会の開催〕
6月20日～22日までの3日間定例会が開催されました。20日は、2件の報告を受け、諮問1件、議案4件が審議され、いずれも原案どおり可決されました。
一般質問は21日3名、22日1名が行い、その後意見書案9件が審議され、採決の結果、いずれも原案どおり可決され閉会しました。

議会の動き

各議員が試験用ぶどう栽培苗木の植樹に参加



もくじ

- 議会の動き …… 1 P
- 一般質問 …… 2～3 P
- 行政常任委員会報告 …… 3 P
- 議案について …… 4 P
- 可決された意見書 …… 4 P



酒井 雅勝

一 旧歌志内中学校及び旧西小学校について

質 現在の歌志内中学校になり9年が経ちましたが、旧歌志内中学校は9年前のままの状態です。昨年7月の強風時には屋上の外壁が剥がれ落ち、応急処置を施したようですが、今後この建物は市としてどのような考えで扱われるのか伺います。また、旧中学校同様旧西小学校もどのようにされるのか伺います。

答 旧歌志内中学校は昭和56年12月に建設された建物で、中学校が旧歌志内高校の校舎に移転したことにより、平成21年3月に閉校しております。現在、建築から35年を経過し、閉校してから9年目を迎えておりますが、以前から屋上の雨水排水管などが大きく損壊しており、耐震性や老朽化により他の施設への転用や譲渡などが困難な施設として、財源の見通しが立った時点で解体除却する予定としております。

旧西小学校は昭和54年11月に建設された建物で、現在の

歌志内小学校と統合したことにより、平成22年3月に閉校しております。

現在、建築から37年を経過し、閉校してから8年目を迎えており、経過年数相応の劣化はありますが、まだ建物自体の耐久性は保持していると判断しております。

この建物は新耐震基準を満たしていないことから、不特定多数の方が利用する公共施設として活用するためには大規模な改修が必要となりますので、公共施設としての活用は難しいと判断しております。しかし、老朽化は進んでおりますが、まだ企業誘致等に

向けた施設としての可能性はありますので、企業誘致等の需要に応えるストックの一つとしてまいります。

なお、いずれの建物も現在、教育委員会が所管となっており、屋上排水溝の清掃など、必要最小限の維持管理を行っております。



湯浅 礼子

一 教職員の勤務実態について

質 文部科学省は、小中学校の教員を対象とした平成28年度の勤務実態調査結果（速報値）を公表した。当市の教員の部活動状況について伺う。

答 中学校では、学校教育活動の一つとして部活動を設置しており、全生徒54人中、37人が参加している。卓球部は顧問3人、ソフトテニス部は顧問3人、バスケットボール部は顧問2人、バレーボール部は顧問3人となっている。週に1日は、部活動のない

日を各部で設定するよう努め、練習時間は、4月から10月が授業終了後から18時30分まで、11月から3月が17時30分までとなっている。

二 義務標準法の改正に伴う通級指導について

質 近年、急増している発達障がいのある児童生徒が別室で授業を受ける「通級指導」を担当する教職員定数が「基礎定数」の中に位置づけられることとなった。当市の現状について伺う。

答 この度の「義務標準法の改正」により当市の教職員定数に影響はないが、小学校では、市の臨時職員として2名の特別支援教育支援員を配置している。

三 就学援助における「ランドセル等新入学児童生徒学用品費」の入学前支給を可能にするための対応について

質 文部科学省の通知に従い、入学前からの支給について、平成30年度から実施できるよう、準備を進めることが重要である。当市の考えを伺う。

答 入学準備金に関する中空知5市4町の調査では、1町のみが、新中学1年生を対象に3月に支給している。その他、4月支給は当市を含め2市1町、5月支給は2町、6月以降の支給は3市という状況である。各市町の今後の動向としては、支給時期を早める予定としているのは1市2町、予定していないのは4市1町、未定は1町で、予定している」と回答した市町でも、まだ具体的な方法等は決まっていないという状況である。

今後は、各市町の動向を注視していきたい。



めが さとし

一 子ども・子育て世帯の貧困問題と就学援助制度について

質① 就学援助制度には入学準備金制度があるが、当市においては入学準備金の前倒しは行っていない。近年道内でも前倒しで支給する自治体が増え始めている。当市も前倒し支給を検討してはどうか。

答 入学準備金に関する中空知5市4町の調査では、1町のみが、新中学1年生を対象に3月に支給。その他、4月支給は当市を含め2市1町、各市町の今後の動向として、支給時期を早める予定としているのは1市2町、予定している」と回答した市町でも、まだ具体的な方法等は決まっていない。当市では4月に支給しており、他市町に比べ早い時期に支給している。今後は、各市町の動向を注視していく。

質 札幌や苫小牧、室蘭、江別など前倒し支給を実施している。また、5市8町が前向きに検討。当市でも近隣の動向を見てと言わずに速やかに行ってみたいかがか。

一般質問

答 様々な事務的作業の問題がある。今後これから行う自治体の様子をみながら、内部調整することになる。

質 4月支給を行っているが、3月に必要なものを揃える必要がある。前倒し支給はとてども大事な問題だと考える。

答 内部で調整し方向性を見つめる。

質 前向きに進めて頂けると認識してもよろしいか。

答 出来るかどうか、技術的な問題を含め今後検討させて頂きたい。

質 ② 子育て世帯に就学援助制度の通知文を出していると思うが、これに合わせて全国的に普及し始めている無料低額診療の通知などは行われているか。また、いつどのよう周知しているのか。

答 29年度については、2月に就学援助制度に係る申請書の配布の際に無料低額診療事業について記載し、周知している。

また、その中に道教委からの無料低額診療を行っている医療機関が書かれた資料を添付している。



下山 剛義

一 第2次歌志内市地域福祉計画・活動計画について

質 高齢者を対象とした「つどいの場事業」が行われているが、内容について伺います。

答 65歳以上の高齢者が住み慣れた地域でいきいきと生活ができるように他者との交流を図り心身の健康の維持や増進を目的にデイサービスセンターの空きスペースを利用して、週に1回、4時間、軽運動やレクリエーション、茶話会、趣味活動を行っている。

質 各種健康診査・がん検診の受診の促進を図るとありますが、内容について伺います。

答 各地区を巡回しての集団健診と、特定健診については、市内の医療機関に委託しての個別健診を実施している。

がん検診は集団検診のほか、大腸がん検診は市内の医療機関での個別検診を実施。

検診率向上のため、本年度はがん検診の周知拡大を図るためポスターの掲示やチラシ配布を実施している。

二 認定こども園を通して行なうまちづくりについて

質 認定こども園の保育と教育、小・中学校の小中一貫教育、両者の連携について伺います。

答 認定こども園の保育と教育は実施内容の検討が現在進められており、幼稚園で行っている教育課程を引き継ぎながらスムーズに移行できるように連携を図ってまいりたいと考えている。

小中一貫教育については、間もなく次年度の教育課程の検討を始めることとしている。

認定こども園との連携は、小中一貫教育ということではなく、園児が小学校に円滑に移行できるように連携をしていくものと考えている。

質 認定こども園に対し、保護者が「何を求めている」と考えているのか伺います。

答 認定こども園の説明を行った時など、保護者からは保育料・保育サービス内容、通園バスや給食に関することなどの意見や要望があった。

こうした声を踏まえ、こども園が子育て支援の中心的な役割を担う施設となるように取り組んでいる。

行政常任委員会報告

委員長 女鹿 聡

▽4月27日

- ・奨学金及び就学援助の状況について
- ・学校支援地域本部事業の取り組み状況について
- ・食育指導の状況について
- ・コミュニティセンターの管理運営状況について（現地視察含む）
- ・図書館の管理運営状況について（現地視察含む）
- ・郷土館の管理運営状況について（現地視察含む）

▽5月31日

- ・職員の有給休暇及び無給休暇の取得状況について
- ・職員の時間外勤務の状況について
- ・企業誘致の取り組み状況について
- ・中小企業振興保証融資事業の状況について
- ・有害鳥獣対策について
- ・生活保護の現況について
- ・母子・父子自立支援、家庭児童相談の現況について
- ・介護保険事業の現況について
- ・社会福祉協議会への委託事業の状況について



コミュニティセンターうたみん視察



図書館視察



議長
かわの 敏夫

＊平成29年第2回定例会提出議案について、お知らせいたします。

一 報告第6号株式会社歌志内振興公社第34期事業報告及び第35期事業計画

売上総利益は9,102万5,718円でこれから販売費及び一般管理費1億3,143万4,850円を差し引いた4,040万9,132円が営業損失となる。これに利息、配当金、補助金等の雑収入4,247万1,793円を加え206万2,661円が経常利益となり税引き後174万661円が当期純利益となる。

質 第1回定例会の監査報告で、歌志内振興公社の出納関係で内部統制を図る経理規則について指摘されていたが、改善されたと把握しているか。
答 会社の経理処理の基本的事項を定めている経理規則は昨年4月1日付けで改正し規定に沿って処理されている。
質 同じ監査報告の中で、補助金申請に伴う対象経費、算出方法等の協定契約が取り交

わされていないとされているが協定契約は行われたのか。

答 振興公社は施設の設置目的に沿った事業に必要な費用を補助要望書として市に提出している。市では内容を精査し補助額を決定し議会の議決を得て交付している。協定契約は行っていない。
質 従業員の接客向上を計画しているが、待遇の厳しい中、従業員の仕事に対する姿勢は低下しないか。
答 ベテランスタッフが相次いで退職した。求人をしてい

るが補充できていない。兼務したり時間外勤務で対応している。従業員はしっかりと仕事に向き合っており頑張っている。利用者モニターからの評判も良く働きやすい環境づくりに対応していると捉えている。
質 利用者には喜ばれるサービスの提供についての話し合い等はどうか捉えているか。
答 支配人を中心にミーティングが行われており、フロント、宴会、清掃等担当ごとに総括と反省を行い業務に反映しているとのこと。

質 昨年の土砂災害などで集客が落ちたが第35期の集客見込みの報告はどうか。

答 災害などの集客の弊害は大きな影響がある。道路が改善されれば1日360〜370名の入館を見込む。

質 修繕費が740万円の予算になっているがこの金額では心配だが。
答 建物の老朽化もあるが、ボイラーの整備改修を行った。屋根の改修も課題になる。アリーナの人工芝修繕張替も視野に入れている。今期は大きな修繕補修の予定がないとのこと。予算と聞いている。また、一般的な修繕は収益の中から都度行っているとのこと。
質 定時株主総会、取締役会の報告があった。取締役は市の職員が兼務しているが正確な業務が出来ているのか不安があるか。
答 将来に向けて公社の健全運営のために専任の職員を置くのが望ましいが、人件費の負担が出る。市も相当負担の覚悟がある。

株主であり支援をする立場で組織運営に十分論議が必要と考える。
質 我々議員の役目でもあるがチロルの湯の今後の経営について市民に説明し意見を聞くことも必要と思うが。

質 我々議員の役目でもあるがチロルの湯の今後の経営について市民に説明し意見を聞くことも必要と思うが。

可決された意見書

- 雪崩遭難者救助対策の推進を求める意見書
- ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤解消と「30人以下学級」の実現、「子ども貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 平成29年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 学校給食の拡充・無料化を求める意見書
- 軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書
- 「新たな高校教育に関する指針」の見直しに関する意見書
- 特別支援学校の設置基準の策定、及び、特別支援学級の学級編成基準の改善を求める意見書

※これら9件の意見書は6月22日に議決し、内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長、その他関係機関へ送付しました。

編集後記

暑さも本番になり、体調管理が難しくなる季節です。

部屋の中においてもきちんと水分補給を行って元気に短い夏を過ごしましょう。

編集長 めが